

# 人権啓発DVD一覧表

# 高齢者

No	タイトル	時間	主なテーマ	製作年
Pア-170-DVD	あなたの笑顔がくれたもの～周りから見えにくい障害・生きづらさ～	37分	障がい者、子ども、高齢者	2022年
	主人公の麻友子は、発達障害である幼馴染の紗希、オストメイト（人工肛門保有者）の女子高生美織、祖母の介護をしている桃田、それぞれ周りからは見えにくい生きづらさを抱えている3人との関わり合いによって、自分の思い込みに気づき、変わる決意をします。外見で決めつけたり、「障害者」や「ヤングケアラー」などカテゴリーで人を判断したりせず、一人一人が考えや感じ方も違う人間であるということを理解して向き合うことの大切さをこのドラマを通して学んでいくことができます。職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとしてお役立てください			
Pイ-100-DVD	いつまでも安心して暮らすために～高齢者の交通安全～	22分	高齢者	2009年
	高齢者のための自動車運転時の注意点、自転車運転時の注意点、高齢者に多く見られる、道路の横断や夜間歩行など歩行中の注意点を紹介します。			
Pキ-070-DVD	虐待シリーズ 高齢者虐待 一尊厳を奪わないために一	26分	高齢者	2008年
	事例3話のオムニバスドラマ。〈事例1 介護サービスを受け入れない〉 友里恵の父、昭一は、脳梗塞になった妻、みさきの面倒は自分が見るとサービスを受け入れない。介護の苛立ちのみさきへの暴力に。友里恵は訪問看護師、澤田のアドバイスでみさきを老人保健施設にショートステイさせる。 他2編〈事例2 虐待の自覚がない〉 〈事例3 要介護状態を受け入れられない〉			
Pク-040-DVD	くうとしのーあなたがそばにいてー	12分	子ども、高齢者	2020年
	認知症の犬・しのと、介護猫・くうの、感動の実話をもとにした道德・人権教育アニメーションです。 もし、あなたの大切な人が認知症になってしまったら、あなたはその人に何をしてあげることができるでしょうか。 年も離れていて、性別も違う犬と猫の関係性を通して、視聴した子供たちが自然と考える事ができる、心がほっこりとする物語です。			
Pコ-180-DVD	ここから歩き始める	34分	高齢者	2015年
	「認知症を共に生きる」をテーマに、高齢者問題を人の幸せと尊厳を守るという人権の視点から捉えます。認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り広げられる介護をめぐる葛藤ときずなの紡ぎなおしを描くことで、高齢者が人間として誇りを持って生きていく上で大切なことについて、家族や地域の視点を通して考えるきっかけとなるドラマ教材です。			

# 人権啓発DVD一覧表

# 高齢者

No	タイトル	時間	主なテーマ	製作年
Pシ-290-DVD	人権を考えるシリーズ 暮らしの中の人権問題 家庭編	22分	子ども、女性、DV・虐待、高齢者	2010年
	親として当然と、子どもの携帯を見る親と、勝手見ないでと怒る子ども。果たして子どものプライバシーを優先すべきか。座談会では、子どものしつけと虐待の境界線について話し合います。また家庭での男女の役割分担は、差別につながるのか考えます。老人問題では、家庭の中でも孤立する老人の孤独とコミュニケーションの大切さを伝えます。			
Pタ-060-DVD	探梅 春、遠からじ	40分	高齢者	2011年
	心の死を感じていた人たちの蘇生のドラマです。そして蘇生に必要なのは他者への関心であり「独りぼっちな死を迎えさせてはならない。孤独や寂しさを感じさせてはならない」という、地域社会を支える私たちの強い意志と行動であることを考えさせてくれる作品です。			
Pナ-040-DVD	なぜ、介護者が虐待を…介護者支援から高齢者虐待のない社会へ	24分	高齢者	2012年
	介護者支援から高齢者虐待のない社会へ高齢者に対する家族の虐待が年々増え続けています。そこでこの作品では、高齢者虐待の事例を再現ドラマで示すとともに、6年前に施行された法令の周知を図り、虐待防止のあり方や、悩みを抱えた介護者を支援することの大切さを訴えていくものです。			
P二-050-DVD	日常の人権 一気づきから行動へー	23分	女性、子ども、高齢者	2009年
	このビデオでは、日常に潜む、「女性」「子ども」「高齢者」の人権問題を取り上げ、ドラマで人々の心にある偏見を、ドキュメンタリーで差別や偏見などで苦しむ人々の心の痛みを伝えます。全2巻。			
P二-080-DVD	認知症と向き合う	30分	高齢者	2016年
	認知症の文乃は、夫と死別後、娘夫婦や孫娘と同居することになった。しかし、ひどい物忘れや徘徊、家族への暴言・暴力といった病状を現す文乃に、家族は振り回され、ばらばらになってしまう。そんな時、息子は立ち寄った喫茶店でおいしいコーヒーを飲み、感動する。しかもマスターは認知症ですと言われてびっくりする。後日、認知症カフェで専門の医師の話聞く。講演を聞きながら、文乃の以前の言動がフラッシュバックする。認知症を理解しようとする気持ちに笑顔が戻り、心が温まる。			

# 人権啓発DVD一覧表

# 高齢者

No	タイトル	時間	主なテーマ	製作年
Pホ-080-DVD	ボクとガク	42分	子ども、高齢者、人権全般	2009年
	希望（のぞむ）と岳（ガク）という二人の子どもと近所に住むおばあさんとの交流を描きながら、子どもの人権と、地域をはぐくむ人権文化というものに目を向けた作品。			
Pモ-030-DVD	桃香の自由帳	36分	子ども、高齢者、人権全般	2011年
	このドラマは、どの地域でも起こりうる出来事に光を当て、日常の何気ない言動を振り返ることで、現代を生きる私たちが見失いつつある、人と人とは寄り添い、共に生きる温かな世界とは何かについて語りかけます。			
Pヨ-020-DVD	「よいお年を」(88分)「青葉のころ よいお年を2」(84分) 2枚組	2時間52分	子ども 高齢者 人権全般	1996年
	介護保険制度が始まる5年前、1995年に、埼玉県坂戸市の民間福祉施設“元気な亀さん”を一年間にわたって追いかけた長編ドキュメンタリー。ステイとデイケアの認知症の老人と、障がいを持つ青年、乳幼児を含む子供、養護学校に通う児童たちが集う。それはまるで、かつての普通の家族のよう。そんな施設の日常を記録しながら、そこで働く人々へのインタビューなどもおりませ、“生きる”ということを見つめ直す。			